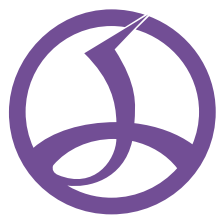


ちよだ 区議会 だより



No. 225

平成27年8月19日

編集: 区議会だより編集委員会

発行: 千代田区議会

〒102 - 8688 千代田区九段南1-2-1

☎ 3264-2111 内線3315

ファクシミリ 3288-5920

第2回 定例区議会



夏の夜を彩る千鳥ヶ淵の風物詩「納涼のタベ」

トップニュース

Top News

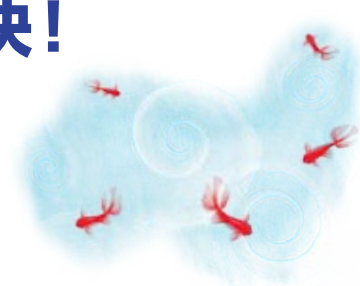
補正予算・いじめ防止等のための基本条例等を可決！

■平成27年度千代田区一般会計補正予算第1号

補正前の額504億1,062万4,000円に、1億1,283万7,000円の予算額が追加されました。

■千代田区いじめ防止等のための基本条例

いじめ防止等の対策を総合的かつ効果的に推進するため、いじめの防止等についての基本的な事項を定める条例を新たに制定しました。



主な内容

- 代表質問 2～3面
- 一般質問 4～5面
- 定例区議会活動報告等 6～9面
- 議案の審議結果等 10面

提案された議案等

◆区長提出議案等

- ・条例 2件
- ・予算、契約等 6件
- ・報告 2件

◆議員提出議案

- ・意見書 3件



●ホームページアドレス

<http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

●メールアドレス

kugikai@city.chiyoda.lg.jp

*この区議会だよりは、区議会ホームページでもご覧になれます。区議会ホームページでは、「区議会日程」や「キッズページ」等を掲載しています。また、区議会の最新情報をお届けする「メールマガジン」も発行していますので、どうぞご利用ください。



<QRコード>

平成27年第3回定例区議会は、
9月24日(予定)から開会します。

平成27年第2回定例区議会

代表質問 (要旨)

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

自由民主党議員団

桜井 ただし

防災対策について

- 問

災害時は、首長の適時適切な指示と確実な情報伝達が重要。自然災害を踏まえ、防災面から見た組織体制は。
- 答

災害時に重要なことは、情報を収集し一元的に管理することと、継続が必要な事業に対して、適正な人員配置を行うこと。そのため、災害の担当部署を職員の人事と広報を所管する「政策経営部」に移す組織改正を実施。

住宅施策について

- 問

①人口が5万人を超え、10年後の予想では、6万5,000人を超える。今後の住宅施策をどう進めていくのか②老朽化する公共住宅の建て替え等の機能更新は、どのように取り組むのか。
- 答

①住宅の「量の確保」から環境整備等の「質の確保」へと展開②建て替えにはさまざまな課題があるが、老朽化が進む公共住宅の機能更新に取り組む。

学校宿泊行事のあり方について

- 問

宿泊行事は、集団生活における良好な人間関係構築のために必要。今後の進め方と施設に求められる機能は。
- 答

中学校1年生の早期のクラスづくりに向けた「オリエンテーション合宿」、各学校の特色や生徒の実態に応じたプログラムで実施する「学校裁量型合宿」等を計画。そのため、討論や作業ができる施設が有用と考える。



新しい千代田

たかざわ 秀行

研究組織について

- 問

①区長が設置を提案する政策形成、人材養成のための研究組織の検討状況②他区の状況③政策会議廃止の理由と成果④政策会議との違い⑤その必要性。
- 答

①取り組み事例等の情報収集を開始②港、新宿、世田谷、荒川の4区が設置③専門家から意見を聴き、区政全般に活用していたが、区民ニーズの多様化等により、課題を絞った専門的議論が難しくなり廃止④政策会議は懇談会的なもの、研究組織は新たな発想や中長期的な政策を考え、人材を育成し調査研究する役割⑤多面的多角的な視点で柔軟な区政運営を実現するため。

お茶の水小・幼稚園の建て替え

- 問

小学校は昭和48年建設、幼稚園は平成5年に仮園舎として都市公園内にプレハブが建設された。老朽化と仮設の状況は問題であり、近隣の再開発とは分けて建て替えを考えるべき。
- 答

建て替えにあたり、幼稚園を校内敷地に戻す必要があり、狭小な校庭は更に狭くなると予想される。また、仮校舎への移転、通学路の変更等で児童・園児・保護者の負担も増える。これらの状況を踏まえ、現在地での建て替えの原則に捉われず、さまざまな選択肢を考慮し、建築にあたっては安全性を大前提とし建て替えの検討を進める。28、29 年度に基本設計、実施設計。30年度着工、32年度に開校の予定。



日本共産党区議団

木村 正明

戦争法案について

- 問

①憲法違反の戦争法案に対する区長の所見は②自衛隊員募集に伴う18歳から26歳までの名簿の提供依頼に対する区長の基本姿勢は。
- 答

①我が国の安全について十分な議論を期待する②各法令に照らし合わせて問題ないと認識。

国保料引き下げと減免の改善を

- 問

①国庫負担引き上げを国に求め、保険者支援制度の活用による国保料引き下げの検討を②保険証を取り上げる資格証明書の発行停止を③国保料と一部負担金の減免制度の運用改善を。
- 答

①引き上げは全国市長会として求めてきた。支援制度については状況を注視しながら活用していく②国保法令等に基づき発行、適切な運用を図る③減免基準を徹底し、適切な情報提供と細やかな個別対応を行っていく。

居住権保障を区政運営の中心に

- 問

①木造住宅・マンション耐震促進事業改善を②居住者の環境変化や費用負担が少ないリニューアル等の推進を③住環境を守る区独自の調整制度を。
- 答

①耐震診断・改修工事助成を既に実施②建て替えも含め適切な対応を推進③既に早期周知条例等に基づき取り組んでいる。今後も地区計画制度をベースに紛争を予防・調整していく。



平成27年第2回定例区議会

代表質問 (要旨)

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

ちよだの声

小枝 すみ子

10年計画と現状把握について

問 ①「ちよだみらいプロジェクト」では、10年後の人口が6万5,000人。そこまで増加するのか②古くからの住民に対し基金等活用を③量より質を重視した都市計画への切り替えが必要。

答 ①目標ではなく、あくまで想定。この人口を前提に行政サービスを計画化②新たな住民と差はつけられない。居住の継続については配慮していく③第三次住宅基本計画の策定作業の中で、住環境の質の向上へのシフトを検討。

住むことと商売継続への支援

問 ①商店の後継者への居住支援として、空き家ストックを活用しては②「千代田ブランド」を形成するヒト・モノ・サービスの「見える化」を推進しては。

答 ①住宅施策の中で商工振興を考えるのは困難②シティプロモーションの検討状況を踏まえ、具体策を検討。

学校跡地利用のあり方

問 ①東松下町計画は、時価30億円の学校跡地を事業者に73年間貸し付ける契約。議会の議決を経るべき②本契約は基本協定に違反している。

答 ①現行条例上、議決案件ではない②地権者が個別に事業者と等価交換協定を結び、区は早期周知条例等に基づく手続きを進め、建築確認を行うという一連の法令手続きを経ている。



公明党議員団

大串 ひろやす

衆議院宿舍跡地の暫定利用を！

問 九段衆議院宿舍跡地の暫定利用について、国との調整や、必要な整備等を今後どのように進めていくのか。

答 衆議院事務局に対して暫定利用の要望書を提出したが、借用は難しいとの見解で断念した経緯がある。しかし関係者の働きかけにより、借用に向けて具体的な協議ができる状況となった。借用面積、整備方法等の調整を進め利用方法の検討を行っていく。

地区防災計画の推進について

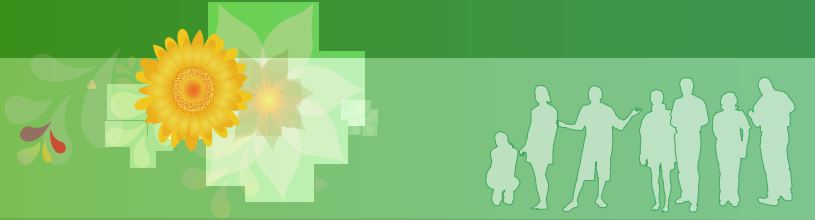
問 ①東日本大震災の教訓を踏まえて、国は災害対策基本法の大幅な改正を行った。行政主体の防災対策から住民主体の防災対策への転換である。その中心となるのが、「地区防災計画」制度の創設である。今後、地域が計画の作成を発意した時、区はどのような支援を行うのか②子どもが自ら考え判断し行動できる防災教育の進め方は。

答 ①法改正の趣旨を踏まえ、住民主体の防災対策に一層取り組んでいく。地域の住民や事業者が地区防災計画を自ら発意し、策定していくことは新しいコミュニティ形成につながるものである。今後各地域で地区防災計画が策定される場合、必要な情報提供と支援を行う②抜き打ちの避難訓練の実施や本所防災館等の防災学習施設での体験的学習を行う等、今後も主体的に行動できる子どもたちの育成に努めていく。



平成27年第2回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

永田 壮一 (自民)

教科書採択について

- 問** ①採択会議で、国家観・歴史観の違いに関し公正中立で十分な議論ができているか②採択の経緯、結果の公開は。
- 答** ①公正中立な観点から各教科書の特徴や差異を十分に調査し採択を行う②HP等で公開予定。

自転車対策について

- 問** ①改正道路交通法の周知は②自転車専用道、放置自転車対策は。
- 答** ①HPや広報紙で周知②神田警察通りでの整備に向けて取り組む。放置自転車対策は、関係団体と協力し推進。



小林 やすお (自民)

秋葉原の迷惑バスについて

- 問** ①二重駐車や駐車中のアイドリング等、観光バスの迷惑駐車について、対策会議を設けるべきではないか②駐停車禁止を強調した赤色舗装地帯を、秋葉原地区でも増やすよう警察へ要請すべきではないか。
- 答** ①②バスを誘導する場所の確保や、赤色舗装地帯等の規制エリアの設置等は困難な課題である。しかし、東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、観光客がますます増加することを考えると、この課題への対応は必要である。どのような体制で協議すべきかを含め検討していく。



内田 直之 (自民)

小川広場・周辺の環境整備

- 問** ①「駿河台下交差点まちづくり協議会」の進捗と整備手法は②小川広場と周辺の環境整備に関し、スポーツの視点は不可欠である。
- 答** ①②広場利用の経緯、周辺の開発動向等の共通認識を図っている段階。今後、スポーツ施設、福祉、芸術等、多様な要望や行政需要等を総合的に勘案し検討していく。

ヒートアイランド対策への提言

- 問** ヒートアイランド現象は、区で最も顕在化している環境問題である。長期的、広域的な対策と同時に、即効性が期待できるドライミスト導入を提案する。
- 答** 省エネ性能の高い建築物への補助制度創設を検討。ドライミストについては効果や課題を検証し導入を検討。

寺沢 文子 (紡民)

マイナンバー制度について

- 問** ①区独自の利用について②メリット・デメリットと費用負担③区民周知の方法は④情報セキュリティの確保は。
- 答** ①国の基準が不明確、検討が出来ない状況②メリットは国の説明と同じ、デメリットは想定不可。費用は、今年度は当初予算で対応、来年度以降は不確定③広報紙等に掲載、ほりばた塾で説明の機会を設定④職員研修等が必須。

学校の体操服のリサイクル

- 問** 破損等で使用できなくなった体操服をリサイクルし、速乾性、着心地の良い新製品にするプロジェクトがある。区立学校で本制度への参加を提案する。
- 答** 体操服等のリユースは、既に他の自治体で実施校がある。関係者の意見を踏まえ、本計画の参加を検討する。

米田 かずや (公明)

生活環境条例の今後の課題

- 問** 条例施行後13年目、路上喫煙、吸い殻が減少した。同時に喫煙場所も減少し、私道での喫煙者が増え、通行の妨げや煙の影響により住宅窓が開けられない等の問題が発生。今後の対策は。
- 答** 地域の方々と連携を図り、パトロール等の活動を一層強化しながら、路上喫煙対策に取り組んでいく。

公園における喫煙対策について

- 問** 公園に喫煙者が集中している。区の助成制度による屋内喫煙所確保の推進とJT支援による喫煙スポットの新設及び改修を提案する。
- 答** 可能な限り助成制度を活用した喫煙所を設置し分散化を図る。また、個別の喫煙所の状況を再確認し、改善策についてJTの協力を求め取り組む。

岩佐 りょう子 (紡民)

地域と考える道の名称について

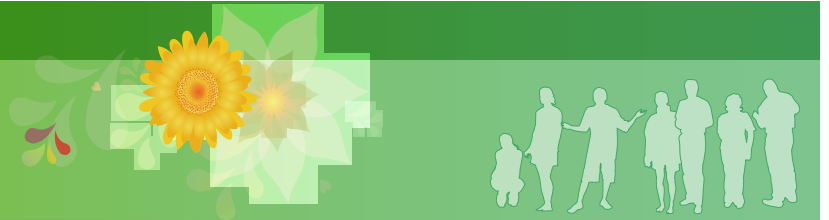
- 問** ①区内道路の通称・愛称名に関する実態把握は②東京オリンピックに向けた観光施策として、区が設定する道路通称名の推進を③交差点の番号表示と名称標識等の設置推進を。
- 答** ①日常の道路管理の中で情報収集等を行う②周知方法や選定審査のあり方を検討③番号表示は今後の研究課題。名称標識の設定手続きを明確化する。

介護予防できるまちづくり

- 問** ①介護予防の考え方は②魅力ある歩行空間、休憩場所を③歩行の動機付けとなる消費カロリーの可視化を。
- 答** ①若い頃から日常的な健康づくりを継続することが重要②オリンピックに向けたまちづくりの中で取り組んでいく③先進事例を研究、検討していく。

平成27年第2回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

林 則行 (千代田)

子どもの遊び場確保について

問 ①保育園等砂場のプラスチック片混入問題について②民間保育所等の代替園庭となっている公園の改修及び禁煙化への取り組みは。

答 ①原因は砂採取場所での混入。場所の変更を手配中。納入業者の責任で入れ替える②所管課と連携し必要な整備を協議。禁煙化は運用面に対応。

保育所の整備計画について

問 ①麴町保育園仮園舎の活用なしに保育需要を満たせるのか②神田保育園園舎の欠陥部分の対策は③代替園庭となっている公園の現状で、遊べる園児数の限界は。用地購入等の是非は。

答 ①待機児童解消までは活用する②必要に応じ修繕等に対応③遊べる人数の把握、用地確保は極めて困難。

岩田 かずひと (維新フ)

路上喫煙者に対する罰則

問 生活環境条例施行後10年以上が経過したが、夜間や路地裏での違反者が多い。過料の金額引き上げの可能性等を含め、今後の取り組みは。

答 金額の引き上げは考えていない。今後、経済情勢が変化し、過料が低すぎて効果がないと判断された場合は、改めて検討する。

ゴミの収集方法について

問 回収車が収集するまでは、集積所にゴミ袋が山積みになっている。不衛生で、見栄えも良くない。打開策は。

答 現在、区内の集積所がどのような形態で管理されているか実態調査を進めている。その結果を踏まえ、地域の方々にもご協力いただき、ゴミ集積所と収集方法のあり方を検討していく。

飯島 和子 (共産)

障がい者の住居確保等

問 ①区営住宅申し込みに際し、軽度障がい者も優遇措置の対象とすべき②収入に応じ家賃が設定されたグループホームが必要③介護保険と障害福祉のサービスは、利用料、自己負担の限度額が異なり介護保険がより重くなっている。負担差を減らす助成制度が必要。

答 ①②組織改正し、障がい者と生活保護の各部門を合わせ、集中的に検討③介護保険優先の原則は問題点がある。国による再検討を期待。

75歳以上の医療費助成を

問 3割負担は2割に引き下げ、一定額を超える年間窓口負担に助成を。

答 社会保険制度の持続のため「能力に応じた負担」は必要。割合の引き下げ及び助成の新設は適当でない。

はやお 恭一 (千代田)

がん検診受診率向上のためには

問 区民の健康づくり推進のための行動計画「改定健康千代田21」に基づく、次の現状と今後の見通しは①各種がん検診受診率②土日健診の実施医療機関数③がん予防知識のある人の割合。

答 ①おのおの横ばい状態。医師会と連携し受診率向上を図る②23年度比増③来年度調査。広報等で知識普及を図る。

生活習慣病予防の対策と方向性

問 ①特定健診・特定保健指導受診率の課題への取り組み②「改定健康千代田21」で示す5年後の区立施設の禁煙・分煙化について、現状と見通しは。

答 ①レセプトを基に未受診者へ受診勧奨②禁煙・分煙化率は88.4%。今後、公園を含む区立施設の受動喫煙防止対策を促進。

牛尾 耕二郎 (共産)

認可保育園待機児の解消に向け

問 ①実態に即した待機児童数を算出し公表すべき②希望の保育所に通える整備計画が必要③民間中心の保育供給方針は限界④保育供給計画に「区立保育園増設」を入れるべき。

答 ①国の基準に従い公表しているが、特定園留保等の人数は公表していく②③④保育供給計画を見直す予定。また、新たな保育需要には、私立認可保育所を中心に整備していく。

第2子以降の保育料の無料化を

問 少子化対策や社会全体で子育てを応援していくことにもなるため、第2子以降の保育料無料化を提案する。

答 個別の軽減策ではなく、次世代育成施策の収支バランスを勘案しながら、総体としての経済的負担軽減に努める。

小林 たかや (声)

喫煙所の増設と分散化

問 芳林公園は喫煙者が集中し、現状の喫煙施設では受動喫煙の問題がある。喫煙所の絶対数を増やし分散化が必要。

答 密閉型喫煙施設への改修と、小規模分散型喫煙所の整備を推進する。

幼稚園定員超過の問題点と対策

問 入園希望者が、定員超過となり、抽選となるケースが生じている。定員増と必要な人員確保等の対策を講じるべき。

答 小学校併設のため教室の増設は困難であり、定員増とこども園導入を検討し、計画的に人員を増やしていく。



平成27年第2回定例区議会

定例区議会活動報告Activity Report

常任委員会

常任委員会では、区長提出議案6件を審査しました。
議案の審査経過をご紹介します。
なお、審議結果は10ページをご覧ください。

企画総務委員会

議案5件のうち、主な議案の審査経過は以下のとおりです。
「千代田区手数料条例の一部を改正する条例」は、東京都の「食品製造業等取締条例」及び「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」の一部改正により、弁当等人力販売業者の許可申請に対する審査等の事務が区の事務になることに伴い、当該事務手数料を新たに定めるほか、規定を整備するものです。施行は本年10月1日からです。

〈審査経過〉

今回の改正により、行商にあたるワゴンや人力による弁当や惣菜販売等が、届出制から許可制に変更されることや、手数料事務が、東京都の事務処理特例条例で区に移管され、23区統一の単価を設定する予定であること、また、質疑の中で、これまで本区では、一カ所に留まっての弁当販売が行商の概念に当てはまらないことから、行政指導によりワゴン等での弁当販売の実態はなく、食中毒等の事故も発生していないこと等が明らかになりました。

「特別区道千第262号(大神宮通り)電線類地中化事業の委託に関する平成27年度及び平成28年度協定の締結について」は、電線類地中化工事の実施を内容とする委託協定を締結するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、委託することで、効率的に業務を進めることが可能になることや、整備費は、これまでの事例を参考に、1mあたり200万円程度を見込んでいること等が明らかになりました。

その他、「高齢者総合サポートセンターの机・椅子等の購入について」「防災行政無線デジタル化等に伴う機器の購入について」「災害対策用備蓄物資（食料）の購入について」の契約案件3件では、契約制度全般に関して、入札参加者の辞退が多く発生していること等を含め、透明性を担保し、より良い契約制度とするためにも、さまざまな課題解決に取り組む必要があるのではないかという委員からの意見に対し、執行機関からは、契約制度のあり方について、議会の意見を頂きながら、引き続き検討していくとの答弁がありました。

地域保健福祉委員会

陳情審査1件と執行機関から12件の報告がありました。
「風ぐるま乗合便事業の見直しの進捗状況」は、高齢者センター機能が、平成28年1月に「かがやきプラザ」へ移転することに伴う主な改善点についての報告です。その内容は運行路線の変更等による「運転間隔の短縮」、28人乗り小型バス導入による「乗車定員の拡充・車両のバリアフリー化」、「SuicaやPASMO等の交通系ICカードの導入」等です。質疑の中で、従来通り車椅子乗車が可能であること。福祉のコンセプトを継承するバスなので、福祉施設や病院等医療施設に停留所を確保すること。14ある座席は全て優先席にすること等が明らかになりました。

次に、「高齢者施設整備について」は、高齢者人口の増加に伴い、要介護認定者が増加している現状から、平成26年度に第6期介護保険事業計画、第3次基本計画と整合性を図った高齢者施設整備計画を作成したものです。本計画に基づき、平成36年度までに民間事業者を誘致して特別養護老人ホームと認知症高齢者グループホームを組み合わせた複合的施設を2カ所、更に前述の複合的施設に老人保健施設等を併設した施設を1カ所整備する予定です。質疑の中で、平成27年度に、施設の種別や規模等の基本的な構想及び事業者選定を予定している施設整備は、高齢者センターの移転により、高齢者施設がなくなる神保町地区に重点を置いて誘致の検討を進めていることが明らかになりました。

次に、「公園の喫煙対策について」は、受動喫煙に対する健康意識の高まりから事業所内やビル等の喫煙制限が進む反面、罰則が適用されない公園等に喫煙者が集中し、区としては、「子どもの利用が多い公園、乳幼児施設が日常的に利用する公園及び子どもが日常的に利用する施設に隣接する公園」「喫煙者が多い公園」「喫煙に対する苦情が多く寄せられている公園」について、優先的に喫煙所設置による分煙化または禁煙化を検討していくこと等が明らかになりました。



平成27年第2回定例区議会

定例区議会活動報告 Activity Report

常任委員会



子育て文教委員会

議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区いじめ防止等のための基本条例」は、いじめ防止等の対策を総合的かつ効果的に推進するため、区におけるいじめの防止等に関し基本的な事項を定める条例を新たに制定するものです。施行は、公布の日からです。

〈審査経過〉

執行機関から、本条例の特徴は①学校に限らず区が関与する施設又は事業におけるいじめを対象としていること②対象年齢を18歳までのすべての子どもとしていること③重大事態が発生した場合は、学校・教育委員会・区長のそれぞれに設置した、いじめ対策のための組織により、三段階で公正な調査が行われるようにしたこと、の3点であるとの説明がありました。また、いじめ防止等についての基本理念や、区、区立学校、その教職員のみならず、事業者、保護者、区民の責務について規定し、地域全体でいじめ問題に対応していくことを明らかにするとともに、区長及び教育委員会の下に設置するいじめ対策組織は、条例制定が必要な附属機関として設置されること等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

区民全体の意見を反映させる努力がなく、いじめ解決を「心の教育」に頼っている。また、保護者へ規範意識の指導を求めているが、家庭教育は自主的に行うべきであり反対する。(牛尾)

【賛成の意見】

いじめ対策の組織等の整備に着手したこと、すぐに具体的な対応ができるようにすることには意義があるため、本条例案に賛成する。(小林た)

いじめに起因する事件が度々発生し、また、それに対して行政が適切に対応できなかった例もあり、区として組織的に取り組んでいく必要があるため賛成する。(小林や)

いじめ防止への強固な姿勢を見せるとともに、区、学校、教職員、保護者、区民の責務を明確にすることで、住民の意識が更に高まると考えられるため賛成する。(永田)



特別委員会



オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

本年3月策定の「千代田区オリンピック・パラリンピック推進プロジェクト」と区内の競技開催予定地について執行機関から報告がありました。

前期委員会で特に検討すべきとされた項目（日本武道館周辺及び区道代官町通りの環境整備）及び推進プロジェクトの68事業について、限られた時間の中で課題整理及び議論を重ね、その実現に向け鋭意取り組むべきであるということを確認しました。

公共施設整備特別委員会

スポーツセンターの更新や特別養護老人ホーム等、高齢者介護施設の整備は、どちらも喫緊の課題であり、同時並行で議論を進めていくこと。また、区民と利用者の意見を聞きながら丁寧に進めていくこと。今後は、低未利用区有地の活用とともに民有地を活用して整備をしていくことも含めて、具体的な施設整備の実現に向け、議論を進めていくことを確認しました。

マンションと地域コミュニティ活性化特別委員会

執行機関から、地域コミュニティの現状や課題、今後の方向性などを示す「地域コミュニティ活性化検討委員会の提言」及び「千代田区分譲マンション実態調査」等の報告がありました。今後は、一昨年から区民集会で議論してきた「防災の視点」を切り口に、マンションを中心とした地域コミュニティのあり方について、調査・研究していくことを確認しました。

議会のあり方に関する調査特別委員会

当委員会では、調査事項のうち、自治体議会のあり方について、各委員から今後の進め方等の意見交換を行いました。その中で、委員相互で課題を共有するため、各委員がテーマの設定や講師を推薦し、研修会を実施する等の提案がありました。また、本区議会におけるこれまでの議会のあり方に関する議論や、先進的な取り組みについて検証すること等を確認しました。



予算特別委員会活動報告

当委員会では、「平成27年度千代田区一般会計補正予算第1号」について、議案審査を行いました。

補正予算の内容は「まち・ひと・しごと創生関連事業」「消費生活支援事業」「臨時福祉給付金」「子育て世帯臨時特例給付金」に関する経費として、1億1,283万7,000円を計上するものです。また、債務負担行為の補正として九段小学校・幼稚園の整備に関わる債務負担限度額を65億596万4,000円に変更するものです。

質疑の中で、①消費生活支援事業における東京都の地域消費喚起特別支援事業費補助金は、商品券やスタンプカード等のプレミアム分のみが対象であるため、区は、従来から支援事業として実施しているスタンプカードの配付枚数を増やす経費として計上したこと②臨時福祉給付金は、昨年度は煩雑な申請手続き等の理由から、支給率が約80%に留まったため、昨年の受給者で今年度も対象になった方には、本人の同意を前提に手続きを簡略化すること③債務負担行為の補正では、九段小学校・幼稚園の整備において、労務単価や建設コストの上昇という社会的要因や擁壁の追加工事が必要になったため、事業費を増加すること等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

本来、補正予算は緊急性や必要性等があって計上されるべきであるが、国の補助金なので使うという安易な理由で提案されたことから反対する。（木村）

【賛成の意見】

消費生活支援事業の拡充は、現時点で区を取り得る施策として、最も適切であることや他の補正予算で取り組む事業も適切な内容であることから賛成する。（永田）

九段小学校・幼稚園整備は、昨今の社会的要因の変化の対応や必要な設計変更が、児童や地域のことを十分に考慮した取り組みであることから賛成する。（内田）



本会議における討論(要旨)

今定例区議会では、次の3件の議案を採決するにあたり、討論がありました。その要旨をご紹介します。

1. 千代田区いじめ防止等のための基本条例

【反対の意見】

調査委員会の設置は評価するが、子どもたちの主体的な行動を促そうという視点が欠落し、原因や背景の究明よりも、いじめ禁止命令や取り締まりを重視している。また、いじめを防止する指導を保護者の責務としているが、家庭の中にまで踏み込むべきでない。以上の理由から反対する。（飯島）

【賛成の意見】

18歳以下のすべての子ども、学校以外の区施設等も対象とした点は、幅広いいじめ防止策としての効果が期待できる。また、新たに3つの附属機関を設置し、公正な調査を担保する

仕組みを構築したことも評価する。子どもたちを取り巻く危機的状況を踏まえ、本条例に賛成する。（小林や）

2. 「安全保障関連法案」の廃案を求める意見書

【反対の意見】

法案では武力行使について、あくまで憲法の枠内での自衛の措置として新三要件を定めている。集団的自衛権を認めるものではない。また、後方支援についても自衛隊が戦争に巻き込まれないよう厳格なルールを定めている。よって、憲法違反との指摘はあてはまらないため反対する。（大串）

集団的自衛権の行使容認は、憲法解釈としての論理的整合性等を維持しており、合理的な解釈の限界を超える解釈改憲ではない。また、この法案は国会での十分な審議と国民の理解が重要であるとして会期延長を図ったものであり、議会制民主主義に則ったものであることから反対する。（山田）

【賛成の意見】

衆議院憲法審査会に参考人招致された憲法学者全員が違憲と断じており、歴代の内閣法制局長官も違憲と述べている。また、全国法律家達が165万人もの署名を集め、この法案に反対している。憲法9条はそもそも「集団的自衛権」という概念は想定していない。よって廃案に賛成する。（岩田）

3. 安全保障関連法案のより一層の丁寧な議論を求める意見書

【反対の意見】

戦後70年間、憲法によって守られてきた平和を、次世代に継承する責任がある。また、他国の攻撃に対し武力行使を可能にする安全保障関連法案について、多数の国民が危惧し反対している。その事実が全く記載されておらず、「丁寧な議論」という抽象的な表現の本意見書の提出に反対する。（寺沢）

「日本が再び海外で戦争をする国になるのではないか」という国民の不安に応え、法案の「慎重な議論を求める」ことは一定の意義を持つ。しかし、本意見書は集団的自衛権を認め、従来の憲法解釈の枠組みを超えた趣旨の関連法案を後押しする内容となっている。よって本意見書に反対する。（牛尾）

【賛成の意見】

我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、国民の安全を守るための必要な自衛措置とは何かを考えることは重要であり、徹底した議論を行って、国民の理解を得る必要がある。本意見書は国会及び政府において、本法案についてより一層の議論を行うことを求めており、賛成する。（桜井）



今定例区議会で可決した意見書(要旨)

安全保障関連法案のより一層の丁寧な議論を求める意見書

我が国を取り巻く安全保障環境が激変する中、万が一への備えも怠ってはなりません。個別的自衛権、集団的自衛権について議論することは、国会の責務です。

国の存立を全うし、国民の命を守るために、外交努力とともに国際連合の決議に基づき、紛争を未然に防止したり、その拡大を防止して早期に終結させるといったことが、これまで以上に重視されます。

よって、千代田区議会は、国会及び政府に対して、憲法上の課題を十分に検証するなど慎重な審議をするとともに、国民の命と平和な暮らしを守り抜くため、安全保障関連法案について、より一層の丁寧な議論を求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。
(提出先) 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣

区議会図書室の図書も閲覧できます

◎区議会には、議会活動や議員の調査研究のために、図書室が設置されています。蔵書は、議会や行政に関する図書を中心に収集しております。

◎閲覧には、事前の予約が必要です。希望される方は、電話で予約してください。

◎なお、定例区議会開会中等は、閲覧のご希望に沿えない場合もあります。

閲覧予約先

区議会事務局調査係 TEL5211-4297



みたままつり(靖國神社)

平成27年第2回定例区議会 会期日程<会期20日間>

月／日	本会議・委員会関係日程	月／日	本会議・委員会関係日程
6／12	議会運営委員会	6／24	公共施設整備特別委員会
	本会議（会期の決定・区長招集あいさつ等）		議会のあり方に関する調査特別委員会
15	議会運営委員会	25	オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
18	議会運営委員会		マンションと地域コミュニティ活性化特別委員会
	本会議（代表質問・一般質問）	26	議会運営委員会
19	議会運営委員会	29	企画総務委員会
	本会議（一般質問・議案の付託等）		地域保健福祉委員会
	予算特別委員会		子育て文教委員会
22	企画総務委員会	30	議会運営委員会
	地域保健福祉委員会	7／1	議会運営委員会
	子育て文教委員会		本会議（議案の議決等）
23	予算特別委員会		

委員会で取り扱った陳情（平成27年3月31日～平成27年7月24日）※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

陳 情 名 (受付順に掲載)	送付委員会 ()は参考送付	審査状況 (平成27年7月24日現在)
日本テレビ放送網麹町新スタジオ棟建設プロジェクトの見直しを求める陳情	企画総務委員会	審査終了
乳幼児人口の急増に対応した神田地区での早急な区立幼稚園の定員拡充等を求める陳情	子育て文教委員会	継続審査
二番町の日本テレビ(仮称) 麹町新スタジオ棟計画から教育環境を守ることを求める陳情	企画総務委員会	審査終了
芳林公園喫煙所の廃止または整備を求める	地域保健福祉委員会	審査終了
「安全保障法制関連法案の廃案を求める意見書」の国への提出を求める陳情	(企画総務委員会)	審査終了
安保関連法案の廃案(撤回)を求める意見書を上げることについての陳情	(企画総務委員会)	審査終了

5月～6月の主な活動



ヒマラヤスギの松ぼっくり
(四ツ谷駅・見附橋)

月／日	日 程	月／日	日 程
5／19	〈平成27年第1回千代田区議会臨時会告示日〉	6／3	地域保健福祉委員会 子育て文教委員会
26	第1回千代田区議会臨時会		
	企画総務委員会		
	地域保健福祉委員会	4	企画総務委員会
	子育て文教委員会		
	議会運営委員会	5	〈平成27年第2回千代田区議会定例会告示日〉 議会運営委員会
	オリンピック・パラリンピック対策特別委員会		
	公共施設整備特別委員会		
	マンションと地域コミュニティ活性化特別委員会	11	議会運営委員会
	議会のあり方に関する調査特別委員会		

議案の審議結果等（平成27年第2回定例区議会）																										可…可決/否…否決/○…賛成/×…反対 欠…欠席/退…退席/除…除斥							
議 員 名 等 議 案 名 等		出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日	
							岩田かずひと維新	秋谷こうき維新	岩佐りょう子紡民	寺沢文子紡民	大串ひろやす公明	米田かずや公明	大坂隆洋自民	池田とものり自民	山田丈夫自民	飯島和子共産	牛尾耕二郎共産	木村正明共産	小枝すみ子声	小林たかや声	戸張孝次郎自民	永田壮一自民	内田直之自民	嶋崎秀彦自民	たかざわ秀行千代田	はやお恭一千代田	林則行千代田	河合良郎千代田	松本佳子自民	小林やすお自民	桜井ただし自民		
議員提出議案	「安全保障関連法案」の廃案を求める意見書	25	24	8	16	否	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	7/1	
	安全保障関連法案のより一層の丁寧な議論を求める意見書	25	24	16	8	可	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1	
	労働基準法改正案の廃案を求める意見書	25	24	7	17	否	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	7/1
区長提出議案	平成27年度千代田区一般会計補正予算第1号	25	24	21	3	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1
	千代田区手数料条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1
	千代田区いじめ防止等のための基本条例	25	24	21	3	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1
	高齢者総合サポートセンターの机・椅子等の購入について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1
	防災行政無線デジタル化等に伴う機器の購入について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1
	災害対策用備蓄物資（食料）の購入について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1
	特別区道千第262号（大神宮通り）電線類地中化事業の委託に関する平成27年度及び平成28年度協定の締結について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1
	千代田区教育委員会委員の任命の同意について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7/1
報告	平成26年度千代田区一般会計予算の繰越明許費に係る歳出予算の繰越しについて																										6/19						
	損害賠償請求事件に関し専決処分により和解した件について																										6/19						

千代田区選挙管理委員及び同補充員選挙（指名推選）	選挙管理委員	大井 岳人・影山 純子・田中 亜紀・鳥海 隆弘（五十音順・敬称略）																											
	選挙管理委員補充員	山田 永秀・八尾 規子・國友 康成・福田 尚子（補充順・敬称略）																											

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数25名

本会議のインターネット中継を行っています！

千代田区議会では、「開かれた区議会」を目指し、本会議のインターネット中継を行っています。

これにより、傍聴に来ることができない方も、ご自宅のパソコン等で、本会議のライブ中継及び録画映像をご覧いただくことができます。

録画映像は、本会議終了後、おおむね2週間前後でご覧になれます。

注) 議会中継は、千代田区議会の公式の記録ではありません。

公式記録は、会議録検索システムからご覧ください。
議会中継に関する著作権は、千代田区議会が所有しています。映像・音声等の無断使用及び無断転載を禁じます。
詳しくは、「インターネット中継ページ」をご覧ください。
また、区議会ホームページでは、本会議終了後「議案の審議結果など」のコーナーには各議員の賛否を一覧表にし

た議決結果を、「提出した意見書・要望書など」のコーナーには、国等へ提出した意見書や要望書を掲載しています。「区議会日程」のコーナーには、本会議や各常任委員会等の開会予定に加え、会議録及び資料を速報版として掲載しています。

（速報版は、正式な会議録とは異なる場合があります。
詳しくは、「区議会ホームページ」をご覧ください。）

区議会ホームページ

<http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

区議会インターネット中継ページ

<http://www.kensakusystem.jp/chiyoda-vod/index.html>

